

☆令和6年度 鳥取県家連総会・家族会研修会

日時:令和6年5月29日(水) 総会 13:30~14:20 (受付開始13:00)
家族会研修会 14:30~15:30
座談会「理想のグループホームについて語り合おう」

会場:鳥取県立倉吉体育文化会館 教養室2
その他:どなたでもご参加いただけますが、総会の議決権は鳥取県家連正会員のみ有します。

☆賛助会員募集~鳥取県家連の活動をご支援ください~

平素は県家連の活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。当会は、一般の方にも賛助会員としてご支援いただき活動の大きな力とさせていただいております。

つきましては、引き続き多くの方に賛助会員としてご入会いただき、当会の活動を支えていただきたくお願い申し上げます。賛助会員の方にはご希望により年に4回発行の本紙をお送りします。

入会申込書は鳥取県家連事務局にございます。
申込みは随時受け付けておりますので、皆さまのご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

賛助会費(年会費)
個人会員:一口 500円
法人会員:一口 5,000円



令和5年度賛助会員 -ご協力ありがとうございました-
法人賛助会員 株式会社 RELIFE 様

1人で悩まず
お電話ください。精神障がい者家族相談ダイヤル

相談専用ダイヤル

090-3880-3498

毎月第1・第3木曜日

13:00~16:00

★令和6年6月までの実施日★

4/4・18 5/2・16

6/6・20

- ・相談は無料です。(通話料は別途かかります。)
- ・秘密は固く守ります。
- ・相談は匿名でもお受けします。



次号に掲載する地域情報をお寄せください。令和6年6月~9月開催の

講演会・研修会・福祉イベント...

皆さんからの情報をお待ちしています。



編集後記

ここ数年、コロナ禍で窮屈な日々を過ごしてきましたが、見方を変えれば新しい何かに気づくことのできた期間だったようにも思います。県家連の活動も皆さんの声を伺いながら新しい気持ちで進めていきたいと思っています。新年度もどうぞよろしくお願い致します。
事務局 岡嶋

☆「鳥取家族会だより」に対するご意見ご要望や精神保健福祉の情報など下記までお寄せください。家族会に関するお問い合わせもどうぞお気軽に！
鳥取県精神障害者家族会連合会事務局
〒680-0901 鳥取市江津318-1
鳥取県立精神保健福祉センター内
Tel 0857-21-3031 Fax 0857-21-3034

鳥取 家族会だより

[発行者]
鳥取県精神障害者家族会連合会
〒680-0901 鳥取市江津 318-1
鳥取県立精神保健福祉センター内
TEL (0857)21-3031
FAX (0857)21-3034

令和5年度を振り返って

鳥取県精神障害者家族会連合会 会長 田淵眞司

令和5年度は、長年のコロナ禍も5月より5類に移行され行動制限が緩和されてきました。感染予防対策はまだまだ配慮が必要ではありますが、社会生活は随分明るくなりました。明るい便りも多くなり、人々の活動も活発になりました。

家族会の活動も本年度は新しい試みも多く取り入れ、理事並びに会員各位のご理解とご協力で活動ができました。ありがとうございました。

以下、主要の活動内容を報告致します。

1. 精神障がい者の人権を守るための活動について

令和4年に国連から日本に対する障害者権利条約の総括所見が出されたり、令和6年4月から障害者差別解消法の合理的配慮の提供が義務化されるなど、人権の問題は、鳥取県家連会長として最も重要なこととして捉えています。毎年行われる鳥取県障がい者差別解消支援地域協議会においても、精神障がい者の人権についてしっかりと向き合っていきたいと思っております。

2. 新規事業「精神障がい者家族支援事業(県補助事業)」の実施

精神障がいのある人のご家族が元気になれるような集まりの場を提供する目的で新規事業に取り組んでいます。本年度は試行期間として、鳥取県家連と共催で境港市まつば会と鳥取市家族会のそれぞれで研修会を実施し、参加者からはご好評をいただきました。令和6年度からはこの事業を本格的に実施していきます。

3. 若者向け精神疾患早期発見啓発リーフレットの配布拡充(県補助事業)

これまで県内の高等学校に向け行っていた上記リーフレットの配布を、今年度から中学校へも開始しました。令和4年度から始まった高校の保健体育での精神疾患に関する学習と併せ、高校生・中学生やその周囲の大人がリーフレットを手取ることで精神疾患への関心や理解をより一層深めてもらえるよう、当会も啓発の一助を担えたらと考えております。

4. 組織強化

現在会員が減少の一途をたどっている精神障がい者家族会ですが、正会員の増員に力を注ぐことはもとより、今年度は新しく団体賛助会員としてご協力いただける団体様への声かけを積極的に行いました。おかげさまで多くの方々に賛同をいただくことが出来ました。誠にありがとうございました。

5. 県並びに市町村への要望活動(県要望に対する回答については2面をお読みください)

今年度も要望活動を行いました。私達の要望を施策に反映させるためにはその裏づけとなる具体的な資料が必要と感じました。今後、会員の皆さんからもご意見や情報をお寄せいただきますようお願い致します。

鳥取県精神障害者家族会連合会は、課題山積の状況でもこの現状を変えるために今後も活動を続けていきます。精神障がいのある人やその家族が今一度気持ちを一つにして頑張りましょう。

令和5年度県要望回答報告

令和5年度の県家連として鳥取県への要望を行い、12月20日に要望に対する回答と懇談会が行われました。

まず、ここ数年取り上げている「精神障がい者にも対応した地域包括支援システム」についてですが、親亡き後の支援モデルを要望しておりますが、回答としては言及されておりません。今後も意見交換などで親亡き後モデル・事例などを求めて行くべきと思います。回答としては知的障がい(児)者の親亡き後の不安を解消する「安心サポートファイル」を紹介され、今後他障がいへの普及促進を予定しているとのことですので期待していきたいです。

特別医療費助成の拡充について、2級3級については現在考えていないとの回答でありました。どのように検討できるかは、今後こちらからも問題提起をしていかなければいけないと考えます。また診断書取得費用の助成についても公平性の観点からも慎重に検討する必要があるとのことでありました。全国の事例をみると市町村で独自の助成制度がある自治体もあるようですので、こちらは市町村への要望に力を入れても良いと思われれます。

また交通運賃の割引制度については、県としても要望活動として動いていただいている報告を受けております。昨年12月の県議会においても、当会の陳情に対し精神障がい者が制度から外れることは差別状態との趣旨採択を受けております。

県の附属委員会委員選出の年齢制限等の基準見直しについてですが、見直しは考えていないとの回答でありました。

この度の回答懇談会の中で、県障がい福祉課中野課長より今後話し合いは出来るとおっしゃっていただきましたので、機会を作り県の担当課と意見交換をしていながら我々の活動の推進に繋げていくべきと思います。

報告者 鳥取県家連副会長 安達賢

<令和5年度要望事項(概要)>

- 1)「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」に親亡き後の支援モデルを作ってください。
 - ①西部圏域をモデル圏域としたこれまでの事業の成果や課題についての検証結果及び今後の予定をお示し下さい。
 - ②地域生活者で、主に当事者の方の一人暮らし支援、社会参加支援、就労支援、医療支援等、親亡き後を想定した支援モデルを各圏域で作ってください。また、これらの事例を各圏域で共有し、当事者・家族が安心して暮らせる社会の実現をすすめてください。
- 2)精神障がい者の経済的自立の支援策として県の医療費助成制度の精神障がい者への適用を拡充してください。
 - ①障害者特別医療費助成制度について精神保健福祉手帳所持者全員への適用をお願いします
 - ②精神障害者の支援諸制度に必要な書類の費用の助成をお願いします。
 - ③社会福祉協議会事業の日常生活自立支援事業の必要費用の全額助成をお願いします。
- 3)公共交通等の運賃割引制度の他障がいと同様の適用について、事業者への申し入れ等行政機関として御支援ください。
- 4)鳥取県附属機関の委員選出について年齢制限等の基準の見直しをお願いします。

家族会活動紹介 岩美町精神障がい者家族会 すずらの会

～21周年 記念イベント・かたつむり祭り開催～

岩美かたつむり工房では、コロナ過で3年休んでいましたが昨年8月21日に創業21周年を記念してかたつむり祭りを開催しました。

当日は、ご来賓として鳥取県議会議員 広谷様、岩美町長、健康福祉課長、岩美町議会議員、民生児童委員、家族会員、利用者家族会等の参加にて盛会のうちに終了することができました。

初めに精神保健福祉センター原田所長様の精神障害に対するお話をいただきました。

講演会終了後は、利用者と職員によるオカリナと手話による音楽を披露したり、会場の皆様と一緒にビンゴゲームも行うなど楽しい時間を過ごすことができました。これもひとえに皆様のご支援あってのことと改めて感謝いたします。今後とも、ご支援ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

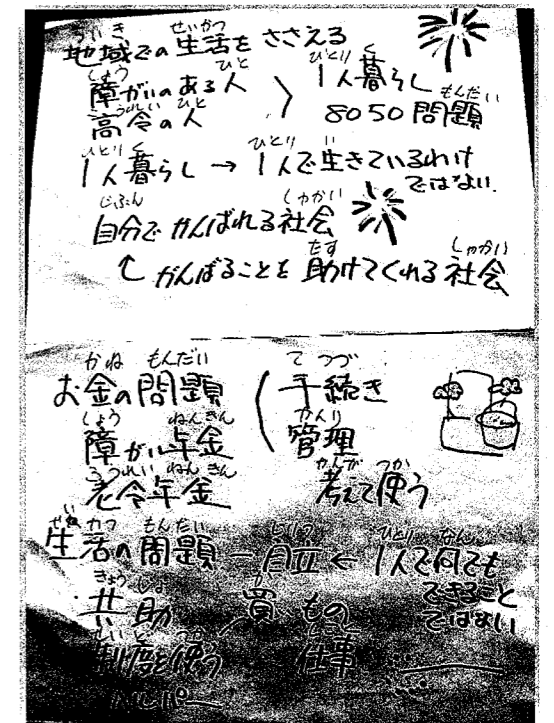
これからも継続して利用者・学校等による相談及び実習生等も受け入れながら活動を広げていきたいと思っております。

岩美町精神障がい者家族会すずらの会
会長 濱崎 智照

原田先生による講演



原田先生の講演内容



参加者全員による手話とオカリナの調べ

